

熱塩加納村のシンボル

昭和五十四年十一月二十二日指定



村の花（ヒメサユリ）

ユリ科の植物として高山や山地に生える多年草で、東北地方の一部に分布し、花はピンク色で毎年6月～8月に茎の先に1～5個横向きに咲く。

当村の西部山地に群生し、可憐な花が野山を飾り、多くの人々に親しまれており平和を表わす。



村の木（スギ）

スギ科の常緑高木、樹幹は通直で高さは30～40メートル、直径は普通30センチ内外で、古木になると2メートル位になるものもある。建築、家具、樽材等、生活には縁の深いものである。まっすぐに伸びる姿は村の限りない躍進を表わす。



村の鳥（ウグイス）

ウグイス科の鳥で、日本各地の低山に住み、羽毛は褐色をおびたオリーブ色をして、毎年4月～8月頃にささやぶや低木に巣をつくり繁殖する。

住宅地の庭まで飛来し、鳴き声が美しく古くから人々に親しまれていることから村民の融和を表わす。